

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter 2026-27



2026.9.1

Vol. **3**



■ 2026-27年度 RI会長テーマ

CREATE LASTING IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

■ 2026-27年度 RI第2500地区ガバナー 地区スローガン

親睦から始まる持続可能な奉仕！

～原点回帰・ロータリーを楽しんでいますか？～

ガバナーメッセージ	1
ガバナー公式訪問レポート	2
米山記念奨学会・ロータリー財団セミナーレポート	12
2026-27年度 地区補助金申請会議を終えて	13
分区だより	14
釧路北ローターアクトクラブ	15
ハイライト米山	16
コーディネーター NEWS	19
新入会員の紹介	23
寄付者報告	26
物故会員	26
例会出席率・会員数推移	27
RIバルセロナ国際大会2027お知らせ	28
ガバナー事務所のご案内	29
地区大会お知らせ	30

ガバナーメッセージ Governor's Message



2026-27年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー

山 本 倫 生 (旭川 RC)

2500地区のロータリアンの皆さま

このたびの令和八年熊本地震により被災されました皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。私たちロータリアンは被災された地域の日も早い復旧・復興を願い、人道支援と致しまして、先般、支援金のご協力を各クラブ宛にお願い致しております。何卒よろしくお願い申し上げます。また千葉県の高雨災害に関しまして、被災地域の皆さまの一刻も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて9月を迎え暑さもひと段落となり、各クラブにおかれましては新年度の活動が本格的に動き出していることと存じます。日頃よりロータリー活動にご尽力いただいております皆さまに、心より敬意と感謝を申し上げます。

9月は、ロータリーにおいて基本的教育と識字率向上月間とされています。子どもたちや地域社会の未来を支えるうえで、学びの機会を広げることは非常に大切です。私たちロータリアンにできることは、物的な支援にとどまらず、人と人とのつながりを通じて希望を育てていくことにあります。また、各クラブが地域の実情に応じて工夫を重ね、特色ある奉仕活動を展開されていることは、ロータリーの大きな力です。会員同士が理解を深め、学び合い、次の世代へ理念をつないでいくことが、クラブの活性化にもつながります。RLIのような学びの機会は、リーダー育成とクラブ強化に資するものとして各地区でも重視されています。本年度も、一人ひとりの行動がクラブを育て、地域を元気にし、ロータリーの価値をさらに高めていくことと思います。どうか引き続き、親睦と奉仕の精神を大切にしながら、実りある活動を積み重ねてまいりましょう。

8月末日で37 / 64クラブを訪問しました。会長幹事拡大懇談会では各クラブのご意見や活動状況など活発なお話を頂戴いたしました。ありがとうございます。

各クラブのますますの発展と皆さまのご健勝を心より祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問レポート



訪問日 7月13日

第7分区 音別ロータリークラブ

会長 横山 寛道 幹事 若杉 貴幸

人口1390人のまち、音別町で1980年に設立された音別RCは会員13名。横山会長は、「少人数クラブなれど弱小クラブに非ず」の精神を継承し、ロータリアンとしての誇りと気概を持って地域に根差した活動を展開し、会員相互の結束を高めて行きたいと考えておられます。

会員増強と退会防止、地域社会への奉仕、例会出

席率の向上、地域との連携などの目標を掲げて活動すると同時に、女性会員の入会も積極的に推進しています。

音別RCのこれからの益々の発展を祈念致します。

(公式訪問随行者 地区副幹事 田中稔力)



訪問日 7月14日

第8分区 根室ロータリークラブ

会長 木村 輝昌 幹事 秋穂 智久

根室RCは1959年6月12日、釧路ロータリークラブをスポンサーに設立されました。会員は31名、平均年齢は66歳。以前は女性会員もいたが、近年の会員減少に危機感を抱き、会員増強に取り組んでいます。

木村会長は、会員増強・親睦と交流・持続可能な奉仕活動を方針に掲げました。

ロータリーの森植樹活動は1965年5月から60年にわたり続けられています。青少年育成の一環とし

て、奨学生も1968年から現在まで助成しています。

現在、根室市の人口21,000人。国内外から800名の技能実習生の受け入れをしています。国際交流が円滑に進むようロータリークラブとして協力しています。

また、根室市と根室ロータリークラブが防災協定を締結し、具体的に活動しています。

根室RCのこれからの益々の発展を祈念致します。

(公式訪問随行者 地区副幹事 田中稔力)



訪問日 7月14日

第8分區 根室西ロータリークラブ

会長 白鳥 一昭

幹事 高橋 雅典

根室西ロータリークラブは、1973年4月13日に根室ロータリークラブをスポンサーに設立されました。会員数48名。白鳥会長は、「学ぶ」を活動方針とし、多様な経験と価値観を持ち、その中で学び合い高め合うことがクラブの成長、そして持続可能な奉仕へと繋がっていき、例会や事業を通じて学びから何かを得られるクラブ運営を目指しておられます。

会員増強にも委員会を中心に活発に取り組んでおり、会員数の維持・拡大に向けた積極的な取り組みをされています。

長年にわたり、高規格救急自動車購入基金への寄付、ポリオ根絶活動、交通安全啓発や青少年健全育成事業など地域社会に貢献するさまざまな奉仕活動に取り組んでおられます。

これからも、より一層の奉仕活動を展開されることを祈念致します。

(公式訪問随行者 地区副幹事 田中稔力)



訪問日 7月15日

第6分區 音更ロータリークラブ

会長 若原 幸紀

幹事 佐藤 和徳

音更RCは1993年10月19日創立。会員数41名、女性会員6名で活動しています。

若原会長は、「楽しくなければ意味がない」という理念のもと、会員一人ひとりが楽しく活動できる環境づくりを推進しておられます。また、会員増強にも積極的かつ着実に取り組まれています。

公益財団法人十勝ロータリー奨学会による奨学金事業に携わるほか、地域振興事業の一環として、音更高等学校農業倶楽部およびボランティア部と連携し、道の駅おとふけに花の鉢植えを設置し、飾り付

けなどを行っておられます。

音更ロータリークラブとして、スズラン(音更の町花)の植樹や図書館への図書購入費の寄付も行っておられます。

さらに、「チャレンジ1全員参加例会」の開催も近く予定されております。

これからも、活発なロータリー活動を展開されることを祈念致します。

(公式訪問随行者 地区副幹事 田中稔力)



訪問日 7月16日

第6分區 清水ロータリークラブ

会長 荒木 義春 幹事 田村 公裕

清水RCは、1963年6月19日、帯広ロータリークラブをスポンサーとして創立されました。現在の会員数は20名で、そのうち女性会員は1名です。

日本のロータリークラブで初めて女性会員を迎え入れたクラブで、1990年に女性会員が入会されました。以来、現在に至るまで女性会員が在籍しております。

荒木会長は、「語り合いを楽しむロータリー」を掲げ、伝統を大切にしながらも、変化の大きい時代にふさわしいクラブ運営を目指しておられます。具

体的には、会員増強と退会防止の推進、地域に根差した奉仕活動の展開、そしてロータリーの公共イメージ向上を重点項目として取り組んでおられます。

また、埼玉県深谷ロータリークラブとの交流も行われているほか、今後は清水高校との交流も働きかけて行く予定とのことでした。

清水RCの一層の発展を祈念致します。

(公式訪問随行者 地区副幹事 田中稔力)



訪問日 7月16日

第6分區 足寄ロータリークラブ

会長 鷲岡 康照 幹事 佐藤 和洋

足寄RCは、1962年9月12日に創立。現在の会員数は25名で、そのうち女性会員は2名です。

鷲岡会長は、クラブの歴史の重みを感じながら、会員増強を活動方針に掲げておられます。新規会員の獲得に努めるとともに、女性会員の入会促進や、会員の後継者となる世代への入会の働きかけについても検討されています。

「入りたくなるロータリー」「行きたくなるロータリー」を目指し、「My Rotary」の活用も積極的に行われています。

足寄町のイベントでは特産品であるラワンブキの販売を行い、その売上金を寄付するなど、地域に根差した奉仕活動を実践されています。さらに、今後は足寄高校のボランティアの方々との交流を深め、青少年奉仕活動の充実にも取り組んでいく予定とのことでした。

今後益々のご発展を祈念致します。

(公式訪問随行者 地区副幹事 田中稔力)



訪問日 7月17日

第6分區 帯広北ロータリークラブ

会長 川端 正幸

幹事 伊藤 隆志

帯広北RCは、1959年に国際ロータリー第2500地区において認証順位第12番目のクラブとして創立されました。現在の会員数は55名で、そのうち女性会員は4名です。

川端会長は、「親睦・結束・そして奉仕」～ともに創り、ともに楽しもう～をスローガンに掲げておられます。「誰かが創る」のではなく、会員一人ひとりが主体となって親睦を深め、ともに創り上げ、楽しむことを大切にされています。

また、会員アンケートを実施し、会員の意見を取り入れながら、時代の変化に対応するとともに、伝

統や奉仕の精神を大切にした活動を進めておられます。

インターアクト活動も活発で、帯広大谷高校との交流事業には地区補助金を活用し、力を注いでおられます。さらに、十勝ロータリー奨学会の運営においては、クラブ内に委員会を設置し、組織基盤の強化にも取り組まれています。

今後も、結束を一層深められ、共通の目的に向かってさらなる発展と充実を遂げられることを祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区副幹事 田中稔力)



訪問日 7月22日

第6分區 上士幌ロータリークラブ

会長 小島 徹

幹事 宮内 隆

上士幌RCは1965年1月26日に創立され、現在の会員数は15名です。

小島会長は、会員増強を重点方針の一つに掲げ、年度内に1名以上の新会員の増強、女性会員の入会にも力を入れておられます。また、通常例会や夜間例会を通じて会員相互の親睦を深め、結束力の強化を図るとともに、近隣のロータリークラブとの交流にも取り組まれています。

地域の小・中学校への図書寄贈をはじめ、青少年

を守る会の巡視活動への協力や地域の祭りでの餅つき奉仕など、長年にわたり活動を実践されています。

さらに、国際奉仕においても、ロータリー財団、米山奨学会、ポリオプラスへの寄付活動など、ロータリーとして果たすべき使命を着実に実践されるとともに、今後も活動の幅を広げ、より積極的な活動を継続していきたいと考えておられます。

ますますのご活躍を祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区副幹事 田中稔力)



訪問日 7月22日

第6分區 帯広ロータリークラブ

会長 川上 義史 幹事 伊藤 秀敏

帯広RCは1935年3月15日に日本国内第16番目、第2500地区では第2番目のクラブとして設立されました。

川上会長は、「不易流行—歴史を学び、後世に生かすべき伝統をつくろう—」を活動方針に掲げ、変わらない本質的なもの（不易）の中に、新しい変化（流行）を取り入れていこうと考えておられます。

今年度は意識の乖離を埋めることを目的に、新たにCLUB DIRECTORS (CD) という特別委員会を組織され、明文化されていない活動内容や慣習を、各委員会が理事を通じて、継承すべき本質と取り入れるべき変化を選択するとともに、年度が替わって

も円滑に引き継げるよう、マニュアルの整備にも取り組まれています。また、会員増強や奉仕プロジェクトにも積極的に取り組まれています。

現在の会員数は88名、そのうち女性会員は11名となっています。

「伝統は『残すもの』ではなく『生かすもの』」という姿勢でクラブ精神を継承されようとする取り組みに敬意を表します。CLUB DIRECTORSの活動が実りあるものとなり、今後ますます発展されることを祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区副幹事 田中稔力)



訪問日 7月23日

第6分區 帯広西ロータリークラブ

会長 久保 且佳 幹事 長平 圭太

帯広西RCは1972年2月24日に創立され、会員数は82名。一昨年には小谷ガバナーを輩出されたクラブです。

久保会長は、「つながれ、動け、西クラブ～親睦を力に、奉仕を誇りに～」を活動方針に掲げておられます。

クラブ最大の魅力である仲の良さを大切に、親睦と奉仕活動の充実に取り組まれています。また、青少年奉仕では、ロケット教室やサッカー教室など、専門色のある活動を実施されています。

さらに、スリランカ・コロombo北ロータリークラブへの協力をはじめ、国際交流にも積極的に取り組まれています。

長い歴史と伝統を誇るクラブとして、規律を大切にしながらも、会員が楽しく参加できる雰囲気づくりに努め、親睦を深めることで会員相互の絆を育み、ロータリーの原点とその喜びへとつなげておられます。

今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区副幹事 田中稔力)



訪問日 7月27日

第6分區 広尾ロータリークラブ

会長 尾矢 利昭 幹事 小椋 良樹

広尾ロータリークラブは、1962年帯広ロータリークラブをスポンサーに設立。会員数16名、平均年齢は56歳と比較的若いクラブです。

今年度の重点目標として、会員数20名の達成を掲げ、会員増強を最重要課題として取り組んでおります。

併せて、広尾ロータリークラブは青少年奉仕活動を重視しており、今年度は地域の子どものために

に、より積極的な奉仕活動を計画しております。その一環として、広尾高等学校の奉仕活動を支援し、地域社会における広尾ロータリークラブの公共イメージ向上につなげたいと考えております。

今後ますますのご発展を心より祈念申し上げます。

(公式訪問随行者 地区副幹事 濱岡雄史)



訪問日 7月27日

第6分區 帯広南ロータリークラブ

会長 松田 英明 幹事 川西 悟

今年度最初の例会は、通算1,500回という記念すべき節目の例会となり、幸先の良いスタートを切ることができました。この機を捉え、クラブ内のワクワク感をさらに引き出し、「みんなで仲良く過ごせる活気あるクラブ運営と一緒に」というスローガンのもと、会員一丸となってクラブの成長に取組む決意を新たにしております。

十勝パラ水泳支援活動は、本年で20周年という

大きな節目を迎えます。記念すべき今年の大会では、会員全員で選手を応援する移動例会を大会会場にて実施する計画を進めております。

帯広南ロータリークラブの更なる発展を心より祈念申し上げます。

(公式訪問随行者 地区副幹事 濱岡雄史)



訪問日 7月28日

第6分區 帯広東ロータリークラブ

会長 大池 梨華 幹事 金尾 泰明

帯広東ロータリークラブは、1984年帯広北ロータリークラブをスポンサーに設立。

大池会長が掲げる「日進月歩！歴史と情熱でつなぐ未来」の理念のもと、世代を超えて人と人との信頼を育み、笑顔あふれる環境づくりを目指しております。

小学4年生を対象とした課外授業では、百年記念館の学芸員を講師にお迎えし、帯広の歴史に触れる機会を提供することで、郷土への愛着を育む一助と

なっています。

また、山形県寒河江さくらんぼロータリークラブとの友好クラブ協定の締結、十勝ロータリー奨学会の継続など、多岐にわたる事業にも積極的に取り組まれています。

クラブの今後益々のご発展を心より祈念申し上げます。

(公式訪問随行者 地区副幹事 濱岡雄史)



訪問日 7月28日

第6分區 芽室ロータリークラブ

会長 横山 眞優美 幹事 木村 淳彦

芽室ロータリークラブは、会員増強の取り組みについて対象者をリスト化し、継続的に声掛けを行うことで、クラブの会員数維持に努めております。

例会は夜間に開催し、より多くの会員が参加しやすい環境を整えるとともに、電話による出欠確認など、日々きめ細やかな対応を続けておられます。こうした地道な努力が、現在の高い出席率に確かな成果として表れております。

また、RYLAには毎年2名を派遣し、事前の所信

表明や参加後の報告会を例会で発表してもらうなど、青少年奉仕にも積極的に取り組んでいます。若い世代の成長を支える姿勢が、クラブの奉仕の幅をさらに広げています。

横山会長が掲げる「持続可能な奉仕」の理念のもと、クラブ奉仕活動の維持に向けて、親睦と奉仕活動をバランス良く運営されている点も特筆すべき取り組みです。

(公式訪問随行者 地区副幹事 濱岡雄史)



訪問日 8月3日

第8分区 厚岸ロータリークラブ

会長 竹田 敏夫 幹事 成澤 則充

厚岸RCの夜間例会に参加致しました。

RI及び地区のスローガンに沿った活動を行うという目標を掲げられ、本年度をスタートされました。牡蠣をはじめとする海の恵み豊かな厚岸の地で、吹奏楽支援や野球大会の支援など、地域に根ざした奉仕活動を積み重ねてこられ、本年度も例会の出席率を上げ会員間の親睦を深めることを重要視され、実

施に向けて会員一丸となって計画を進められています。

この度は誠にありがとうございました。これからもますますご発展されますことを祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区副幹事 関山真教)



訪問日 8月4日

第8分区 浜中ロータリークラブ

会長 加藤 勤也 幹事 田中 行彦

浜中RCの例会に参加致しました。

「持続可能なクラブ」のスローガンのもと、少数精鋭ながら結束の強いクラブ運営を進められています。霧多布の雄大な自然と、酪農・漁業に支えられた地域にあって、会員増強をはじめとする様々な奉仕活動に会員の皆様が力を合わせて取り組んでおられます。

この度は誠にありがとうございました。これからもますますご発展されますことを祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区副幹事 関山真教)



訪問日 8月5日

第8分區 弟子屈ロータリークラブ

会長 辻谷 智之 幹事 榎本 竜太郎

弟子屈RCの例会に参加致しました。

「楽しく持続可能なクラブをめざして」のスローガンのもと、和やかで活気ある例会運営を心がけておられます。摩周湖・屈斜路湖を擁する観光の町で、地域とともに歩んでこられた70年という歴史を大切にしながら、本年度は超我の奉仕の実現に向けて全員で計画を進められており、参加することが楽し

いロータリークラブの活動を心掛けておられます。

この度は誠にありがとうございました。これからもますますご発展されますことを祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区副幹事 関山真教)



訪問日 8月5日

第8分區 中標津ロータリークラブ

会長 林 武陽 幹事 本間 亨

中標津RCの夜間例会に参加致しました。

「地域と未来へ つながる奉仕 ～持続可能なインパクトを中標津から～」のスローガンのもと、本年度の活動をスタートされました。広大な牧草地が広がる町で、地域経済の担い手として活躍される会員の皆様が、地域に根ざした奉仕活動を活発に実施され、サッカー大会の開催も毎年行われております。会員間で意見を交わし、一丸となって準備を進めら

れています。会員増強にも力を入れられ、出席率の向上にも努力をされております。

この度は誠にありがとうございました。これからもますますご発展されますことを祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区副幹事 関山真教)



訪問日 8月6日

第5分区 美幌ロータリークラブ

会長 高橋 佳三 幹事 北守 但祥

美幌ロータリークラブ様の例会に参加致しました。

「親睦を力に、地域に持続可能なインパクトを！！」のスローガンのもと、伝統を大切にしながら新たな挑戦を続けておられます。美幌峠を望む町で培われた強い絆を礎に、本年度は地域に根付き、次の世代にも繋がる取り組みを大切にという活動に向けて、会員の皆様が力を合わせて計画を進められています。シンガポールとの交流も毎年続けてこら

れ、青少年育成事業でもスポーツ大会への支援を長年続けられていらっしゃるとのことでした。

この度は誠にありがとうございました。これからもますますご発展されますことを祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区副幹事 関山真教)



2026-27年度 国際ロータリー第2500地区

米山記念奨学会・ロータリー財団セミナー

レポート

2026年7月26日（日曜日）OMO7旭川において「米山記念奨学セミナー」と「ロータリー財団セミナー」が開催され、第2500地区の各クラブから80名以上が集い米山奨学事業、ロータリー財団について理解を深めました。

米山記念奨学会セミナー

「米山記念奨学セミナー」では、松浦信一委員長から米山奨学会の目的と活動について現状報告の後、2020～22年度米山親善大使のウォータース・カレン・ジュリア氏（オーストラリア）より「あの日いただいたチャンスが世界の架け橋になった」の演目で講演をいただきました。続いて、2025～26年度米山奨学生のテリゲル氏からは、「ロータリー米山記念奨学生としての一年 私がいただいたもの」の演目で講演をいただきました。

全体を通じて米山記念奨学会事業は奨学生のみならず、関わるロータリアン自身をも成長させる重要な事業であること、世界を結ぶ人づくりの事業であることを学び、大変有意義なセミナーとなりました。



米山記念奨学会運営委員 松浦信一委員長



ウォータース・カレン・ジュリア氏



テリゲル氏

ロータリー財団セミナー

「ロータリー財団セミナー」では、細川吉博ロータリー財団委員長より財団の重要性・寄付の役割・ポールハリスソサエティ（PHS）についての説明をいただきました。続いて、国際ロータリー日本事務局 財団室 寄付推進オフィサー（AGO）の近藤かおり氏より「ロータリー財団と年次基金の仕組み」について非常に解りやすく丁寧にお話をいただきました。続いて、2025-28年度ロータリー財団地域コーディネーター（第1地域）で第2820地区の新井和雄パストガバナー（下館RC）が「財団の補助金を使って奉仕の理念を実践しましょう！」と題して講演。ネパールで実現した持続可能な医療奉仕のインパクトについて、実現させるための「積み木」を（投入リソース・結果・成果・インパクト）解説していただきました。

その後各チームリーダー、委員長からの報告を行いました。

講演後のディスカッションにて5名の会員がPHSに入会してくれました。超我の奉仕の心より感謝と敬意を表します。（新井和雄パストガバナーのFacebookより）



ロータリー財団委員会 細川吉博 委員長



近藤かおり氏



新井和雄パストガバナー

グローバル補助金チーム
荒井 剛 リーダーロータリー平和フェロシップチーム
行本隼人 リーダーVTチーム
山北正美 リーダーリソースとサポート委員会
本間 潤 委員長地区補助金チーム
本間公三 リーダー駒形貞洋
第3分区分ガバナー補佐杉川 毅
第1分区分ガバナー補佐

2026-27年度

地区補助金申請会議を終えて

2026-27年度
国際ロータリー第2500地区
地区補助金チームリーダー

本 間 公 三
(網走RC)



今年度の地区補助金申請会議は、去る6月20日(土)に山本ガバナー事務所の会議室で開催されました。提出されていた17事業を全て承認し、国際ロータリー日本事務局へ提出しました。

今年の補助金額は67,148ドルと昨年より約700ドルほど少なかったのですが、申請件数が減少したため臨時費を例年より多く確保（総額の16.5%）しなければ総額をクリアできない状態となっていました。クラブそれぞれに事情があるとは思いますが、来年度は是非多くのクラブが事業申請をして頂きたい、宜しくお願い申し上げます。

2026-27 RI2500地区補助金申請一覧

1 \$; 159円

分区	クラブ・地区	事業種別	継続回数	事業内容	補助額(\$)
2	美 深	寄贈	1	美深高校のバス停に待合所を設置	1,166
3	旭 川 北	奉仕	2	子供食堂、学習支援事業を通して子供達の将来の夢を育む	3,018
	旭 川 南	奉仕	2	第7回北海道中学軟式野球選抜北海道大会の開催	3,018
	美 瑛	奉仕	1	寄贈するLED投光器を活用し、夜間に多世代交流会を開催	3,113
	富 良 野	奉仕	1	富良野市 鳥沼公園防護柵設置事業	1,958
5	北 見 東	奉仕	1	児童館を利用している子供達のお絵描きコンテストを開催	3,144
6	帯 広	奉仕	2	十勝在留外国人のフットサル交流会を開催	3,018
	帯 広 北	奉仕	1	児童養護施設 十勝学園との交通安全交流教室の開催	1,490
	帯 広 西	奉仕	1	9歳までの子供達を対象としたサッカー教室と大会の開催	2,770
	芽 室	奉仕	2	芽室RC杯 芽室野球少年団大会の開催	566
7	釧 路	奉仕	1	厳冬の「釧路湿原国立公園」を巡る小学生のツアーを企画	2,515
	釧 路 北	奉仕	1	小中学生を対象とした「ゴミ拾い」と「ウォーキング」を組み合わせた環境美化活動を実施	3,113
	釧 路 南	奉仕	3	ウィンターパーク内のイルミネーション設置と冬の運動会	1,100
	釧 路 西	寄贈	1	鳥取10号公園に防犯カメラ設置	874
	釧路ベイ	奉仕	1	釧路江南高校 蝦夷太鼓部の太鼓張替え事業	2,515
	2500地区	奉仕		地区内児童養護施設生徒への奨学金給付	8,114
	2500地区	奉仕		地区内小中高校に生理用品を寄贈し感染症の講話を企画	12,586
	合 計				54,078

分区分区だより

第2分区

第2分区ガバナー補佐

神 田 英 一

士別ロータリークラブ



第2分区は、上川北部の士別RC、名寄RC、美深RCと宗谷南部の中頓別RC、枝幸RCの5クラブで構成されています。この地区は、夏暑く、冬は寒く、寒暖差の大きい豪雪地帯です。この機会をお借りして、この地区の5クラブを紹介したいと思います。

中頓別町は、第2分区の中で人員数が一番少ないクラブです。鍾乳洞があり、明治時代に砂金堀が行われていたことで有名です。最近では、最北のワイナリーとしてワイン醸造が行われています。

枝幸町は、5クラブの中で唯一海を有する町です。オホーツク海に面していることで、蟹、鮭等海産物が有名で、毎年開催される「オホーツク枝幸うまいもん祭り」は町内外から多くの人が集まります。

美深町は、松山湿原、トロッコ王国、美深駅の横にはロータリーの森があります。また、寒冷地テストコースのスバル研究実験センターもあります。林業を主体とした町です。

名寄市は、道北の中心都市で、なよろ天文台きたすばる、市立名寄大学があります。また、ピヤシリ山のパウダースノーや日本一の作付面積で栽培される餅米が有名です。



士別市は、最後かつ最北の屯田兵入植地です。合宿の町、ひつじの町としても有名です。サフォーク肉は、主に本州の高級レストランなどに出荷され、その臭みの無さと深い味わいは全国的にも人気を得ています。また、数社の寒冷地テストコースを有するまちです。士別RCでは、毎年サフォークランド士別ハーフマラソン大会にボランティアで参加しています。今年は初めて、谷村会長と鈴木幹事がロータリー旗

を持ち、10kmコースにエントリーし完走しました。また、7月開催のふれあい広場には、毎年参加し、ポリオ撲滅運動の募金活動を行いました。

第2分区でも、他の分区同様、人口減少からの自治体存続を危惧するところですが、分区内のクラブ間交流を深めて頑張っております。今後もロータリーを絶やさないよう努めて行きたいと考えています。



釧路北ローターアクトクラブ



今年度、釧路北ローターアクトクラブ第56代会長を務めさせていただきます、大澤敬乃と申します。1年間よろしくお願いいたします。

55周年を迎える今年度のクラブテーマは、「A place to belong」といたしました。幹事として過ごした昨年度は、加納会長が掲げた「結志」というテーマに向かって、ひたすらに駆け抜けた一年でした。昨年度1年間を通し、私は会員全員の優しさとありがたさを改めて実感いたしました。同時に、全員で強く志を結ぶことができたと感じています。会長という大役を担う今年度は、「全員が全員の居場所になれるようなクラブ」を創りたいという願いを込め、このクラブテーマを掲げました。

ローターアクトクラブの活動は、学業や仕事、家庭との両立など、限られた時間の中で多くのことを吸収し、実行する必要があります。時には日々の生活に追われ、厳しさを感じることもあるでしょう。そんな時、「早くみんなに会いたい」「また頑張ろう」と思えるのは、このクラブが会員全員の居場所であるからだと確信しています。私自身が感じたこの想いを、これから出会う方々にもぜひ伝えていきたいと考えております。



当クラブは1971年に創立された、長い歴史と伝統のあるクラブです。これまで先輩方が大切に繋いでくださったこのバトンを次世代へ、そして新しい仲間へと繋いでいけるよう、ロータリアンの皆様、OB・OGの皆様、そして会員の皆様のご指導・ご協力をいただきながら、精一杯努めてまいります。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol.

316

2026年7月13日
発行

1 台北国際大会 ブース出展&分科会開催報告

6月13日から17日まで、国際ロータリー年次大会が台北で開催されました。米山記念奨学会としては2004年の大阪、2012年のバンコク、2016年のソウルに続き「友愛の家」にブースを出展するとともに、2016年以来、10年ぶりに分科会を開催しました。今大会には地元・台湾の米山学友やよねやま親善大使らがブースに立ち、世界各国のロータリー会員に当事業のPRを行いました。その様子をご紹介します。

【6月13日～17日 ブース出展】

ブースには連日、多くのロータリー会員が足を運んでくださいました。ブースの外まで人があふれる時間帯もあり、大盛況となりました。台湾の米山学友とよねやま親善大使を中心に、来場いただいた方に対し、メッセージを書いた記念撮影や世界地図へのピン刺し、今大会限定の記念バッジの贈呈を行いました。最終的には40か国以上の国と地域からブースにご来場いただいたのみならず、数多くのメッセージを残していただきました。多くの方のご来場に心から感謝いたします。



【6月12日 台湾米山学友会主催 歓迎懇親会】

台北国際大会の開会に先立ち、台湾米山学友会が歓迎懇親会を開催。日本からも多数のロータリー会員が集まったほか、インドネシア出身で、今年度から米山学友として4人目のガバナーとなるラスマナ センダリウスさん（1992-94/長岡西RC）や、分科会に登壇する4人の学友、よねやま親善大使らが参加し、総勢107人が出席しました。



【6月15日 分科会】

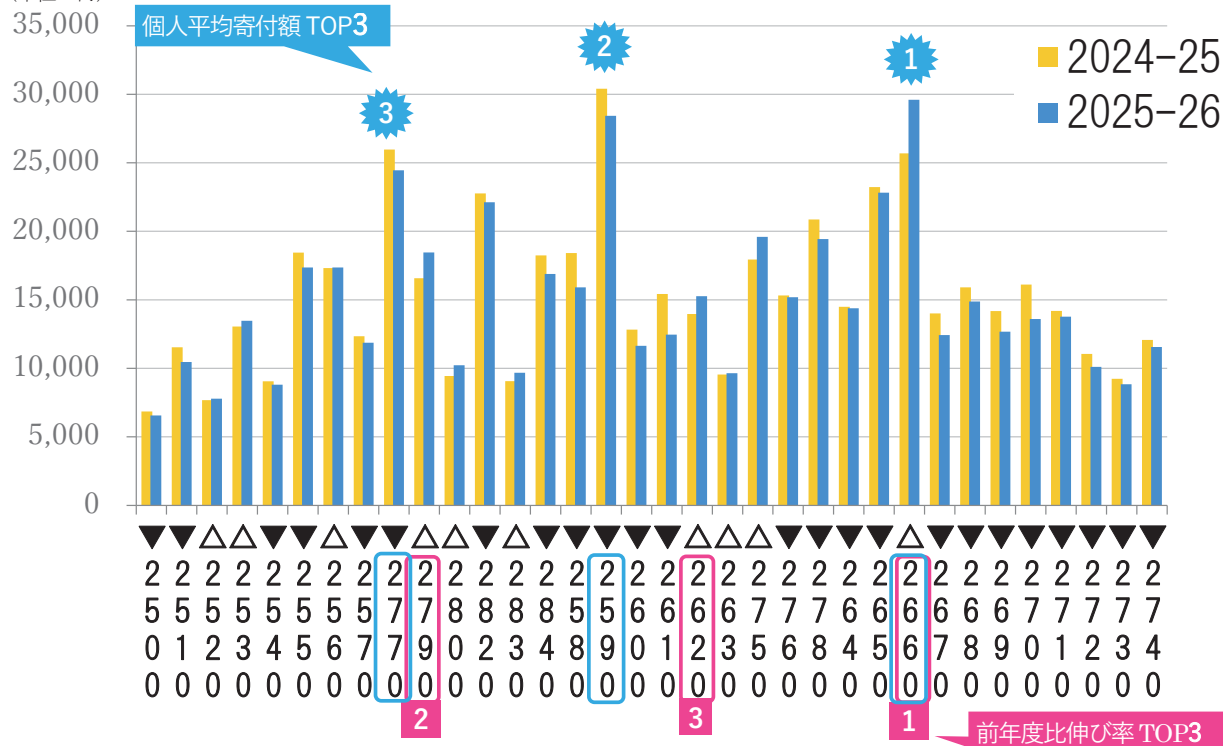
「会員と米山学友が支える永続的なつながり」というタイトルで、2016年以来、2度目となる分科会を開催しました。林岳毅さん（2000-01／札幌清田RC）、フィンティミーハンさん（2001-02／金沢みなとRC）、朴貞子さん（2006-08／岸和田RC）、バンバット トゥメンデルゲルさん（2014-15／大阪東RC）の4人が登壇。会場に参加したロータリー会員からは、「米山学友の話を聞いて、実際にどのような活動をしているのか理解できた」「新たな発見があった」といった感想が聞かれました。



2 2025-26 年度寄付金結果

2025-26年度の寄付金は約12億9,500万円となりました。前年度比2.7%減（普通寄付金:0.1%増、特別寄付金:3.9%減）、約3,500万円減少しました。寄付総額が13億円を下回るのは14年ぶりとなりますが、当年度予算に対しては約1,500万円上回ることができました。ご寄付いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。2026年度も引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

（単位：円）



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：15,628円】

① 第2660地区：29,595円 ② 第2590地区：28,432円 ③ 第2770地区：24,448円

前年度比伸び率 TOP3

① 第2660地区：115.2% ② 第2790地区：111.4% ③ 第2620地区：109.3%

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F

Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp

URL：https://www.rotary-yoneyama.or.jp/

編集担当：長尾(ながお)

3 理事会開催 — 前年度と同様の 940 人採用 —

6 月 1 日、第 50 回理事会が都内会場にて開催され、全国から理事 29 人、監事 2 人が出席しました。今回の理事会では、議長の若林紀男理事長の進行の下、最初に日本人海外留学支援検討タスクフォース、中長期ビジョン検討タスクフォースの両座長から最終報告がありました。主な議案は、2027 学年度奨学生採用数、2027 学年度募集要項、2026 年度事業計画案、「公益目的

事業の種類及び内容」の変更、資産運用方針案、収支予算案などが審議され、各担当理事、事務局長からの提案説明を経て、原案通り承認されました。これにより、2027 学年度の奨学生採用数は、前年度と同じ 940 人（枠）とすることが決定しました。また、「日本人支援の方向性の件」は活発な意見交換が行われ、次回理事会で継続審議することとなりました。

4 第 2 回 次期地区米山奨学委員長セミナー開催

6 月 2 日、2026-27 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第 2 回セミナーを都内会場で開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶から始まり、井原實副理事長の講話の後、学務関連について事務局から説明を実施しました。その後、第 2550 地区田島良久委員長から危機管理について事例を発表いただき、事務局から表彰制度

一部改定のお知らせについてご案内しました。午後の部では、事務局から広報・学友関連について説明を行った後、4 グループに分かれ、「より魅力的な奨学金制度にするには」という共通テーマでディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、神野重行常務理事の講評で締めくくられました。

5 スリランカに届いた「日本の袋麺」で町が熱狂

スリランカ米山学友会創立 10 周年記念式典を翌日に控えた 5 月 31 日、北西部にある小さな町、カッカパリヤでは心温まる交流イベントが行われました。

会場は、米山学友のスチッタ グナセカラさん（第 2 代よねやま親善大使／2720Japan O.K. ロータリーE クラブ会員）が経営する日本語学校です。同校は 2009 年に設立され、これまでに 500 人以上が日本語を学び、両国をつなぐ架け橋として歩みを重ねています。

今回、同校の 31 期生が「日本のラーメンをスリランカで振る舞いたい」と発案。第 2720 地区のロータリー関係者や、当財団の大久保章常務理事が手分けをして袋麺 500 食・割り箸 500



膳を現地へ届けました。

当日は炎天下の中、3 時間以上の待機列ができるほどの人気ぶりで、あまりの反響に紙の器が不足する場面もありましたが、最終的には約 5,000 人に提供することができました。

立ち会った大久保常務理事は「日本では当たり前にある袋麺が、これほどの感動を生む光景を目の当たりにし、ロータリー活動の意義をあらためて実感した」と振り返ります。来年の目標は 10,000 人とのことで、今後の広がりが楽しみです。



配布を待つ長蛇の列



コーディネーター NEWS

2026年7月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

二度目の奇跡へ：ポリオ根絶という人類の使命 腕に残る「勲章」と、人類の勝利

第1 地域 ポリオ根絶コーディネーター(EPNC) 松田 英郎 (富良野 RC)

1980年、人類は医学史における最大の宿敵の一つであった天然痘を、この地球上から完全に根絶しました。私と同世代の方々であれば、自らの腕に刻まれた「種痘」の跡を覚えているはずです。小さな針がついたスタンプを押し、皮膚を傷つけてワクチンを塗り込むその手法は、決して洗練されたものとは言えません。化膿し、瘢痕として残るその跡は、現代の審美的な価値観からすれば「コスメチック」ではないかもしれません。しかし、その跡こそが、かつて人類を震え上がらせた死の恐怖から私たちが解放された証であり、人類が英知を結集して勝ち取った「勝利の勲章」でもありました。

天然痘の根絶から45年が経過しようとしている今、私たちは二番目のウイルス、ポリオ(小児麻痺)をこの世から消し去ろうとする歴史的転換点に立っています。



ここでもう一人のポールを紹介します。

かつてポリオは、世界中で子どもたちの未来を奪う恐怖の象徴でした。その記憶を呼び覚ます装置が「鉄の肺」です。かつてサンディエゴで開催され世界協議会に参加した際、私は会場に展示されていたその実物を目にしました。学生時代に文献で見て「こんな大きなタンクの中に人を閉じ込めるのか」と驚愕した記憶が鮮明に蘇りました。現在の人工呼吸器の先駆けとなったこの巨大な装置は、かつて日本でも流行時に導入されていました。

2024年3月、この鉄の肺の中で70年以上を過ごした「ポリオサバイバー」のもう一人のポール、ポール・アレクサンダー氏が亡くなりました。彼は感染によって呼吸筋が麻痺しながらも、不屈の精神で弁護士資格を取得し、社会復帰を果たしました。彼の功績は称賛に値しますが、同時に、彼が歩んだ一生がいかにか陰しく、過酷な闘いであったかを思わずにはいられません。ポリオによる弛緩性麻痺は、四肢の自由を奪うだけでなく、呼吸という生命の根幹をも脅かします。その重症度は個体の免疫力や抵抗力によって様々ですが、一人の人生をこれほどまでに縛り付ける病を、私たちは決して看過してはならないのです。

ポリオの恐ろしさは、その潜伏性と広がり速さにあります。実際に麻痺を起こすのは感染者の0.1%から1%程度に過ぎません。しかし、残りの99%以上は症状が出ない「不顕性感染」であり、本人が気づかぬうちにウイルスを排出します。つまり、一人の有症状患者が発生したとき、その背後にはすでに1,000人以上の感染者が潜んでいることを意味します。

ウイルスは人間の体内でしか増殖できません。だからこそ、下水道などの環境サーベイランス(監視体制)が極めて重要となります。2024年、パレスチナ自治区ガザ地区において戦闘を一時中断してまでワクチン接種が行われたのは、劣悪な衛生環境下で排出されたウイルスが、無防備な子どもたちの体内に入る連鎖を断ち切るためでした。たとえ戦火の中にあつたとしても、ウイルスは国境も思想も関係なく牙を剥きます。ワクチン接種は、今この瞬間も子どもたちの命を守る唯一の盾なのです。

幸いなことに、ポリオウイルスは抗原性の変化が少なく、かつて日本を救ったワクチンが今なお有効です。しかし、課題

は山積しています。これまで主流だった生ワクチンは、稀にワクチン由来のポリオを発症させるリスクを孕んでいます。一方、そのリスクを排除した「不活化ワクチン」を世界中に届けるには、莫大なコストと物流網が必要で現実的ではありません。

また、ポリオ根絶は単なる医療の問題に留まりません。安全な水の供給、徹底した公衆衛生教育、そして何よりも安定した社会基盤が必要です。ウイルスを消し去ることは、その国や地域の生活水準を底上げすることと同義なのです。

2031 年まで根絶目標が延長されましたが、これは決して敗北ではありません。最後の一步をより確実に、一人の取りこぼしもなく踏み出すための「決意の再設定」であると捉えるべきでしょう。

かつて日本もポリオの流行に苦しみ、当時の母親たちが立ち上がり、生ワクチンの緊急輸入を実現させた歴史があります。現在の日本は、全くワクチン由来のポリオが発生しない不活化ワクチンへと移行していますが、この平和な日常は先人たちのあらがうような努力の上に成り立っています。

ロータリークラブをはじめとする世界ポリオ根絶イニシアチブ(GPEI)が担う役割は、もはや単なる医療支援の枠を超えています。それは、グローバル化の中で失われつつある「他者への献身」を呼び覚まし、地球上のどこに生まれても「呼吸する自由」と「歩む権利」を保障するための平和運動です。ただ、GPEI に対してイギリス政府が 2026 年以降直接的な支援を中止したという報告は極めて残念と言うしかありません。

かつて私が開業した 1991 年、バブル崩壊や湾岸戦争による資材高騰という逆風の中、先人たちは日本の未来を守るために汗をかいてきました。今、私たちが次世代に残すべきは、卑屈感ではなく、世界を救ったという確かな「プライド」です。

ポリオという言葉が歴史の教科書の中にだけ存在する世界を。その実現のために、皆様のさらなるご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。





コーディネーター NEWS

2026年7月号 No.2

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第2 地域 ロータリー会員増強コーディネーター 若林 英博（東京麹町 RC）

突然ではございますが、「コーディネーターニュース」は、今期で一区切りとなり、今後は『ロータリーの友』へ引き継がれる予定と伺っております。前任の野口英一 RMC から引き継ぎ、2025 年 8 月号から本号まで、原稿の取りまとめを担当いたしました。この一年間、ご多用の中で執筆にご協力くださいました地域リーダーの皆さまに、心より御礼申し上げます。お寄せいただいた貴重なご意見や実践例は、読者にとって大切な情報として積み重なり、今後のクラブ活性の一助となるものと確信しております。



さて、4 月のクラブ活性化セミナーでは、「会員がやめないクラブづくり」～みんなで語り合おう～をテーマに、退会防止に焦点を当てた参加型プログラムを実施しました。我々 RMC は初日の午後のセッションを担当し、基調プレゼンテーション、分科会、まとめまで、年明けから準備を重ねてまいりました。

特に大切にしたのは、「退会は“届”の話ではなく、心の中で起きている“水位”の話である」という視点です。退会届が出るずっと前から、会員の心には不満、違和感、疲れ、孤立感などが少しずつたまっていくのではないかと。その水位に、私たちはどれだけ気づけているのかを共有しました。

ブレインストーミングでは、「会員のコップの水は、どんな時に増え、どんな時に減るのか」を話し合い、シナリオ演習では、役割や期待、周囲の言葉、小さな出来事が水位に与える影響を考えました。個人ワークでは、「防げた退会・防ぐべきだった退会」を振り返り、各地区で活用できる気づきや実践例を共有しました。

会員増強と退会防止は、両輪です。新しい会員を迎えるだけでなく、今いる会員が価値を感じ、居場所を持ち、ロータリー活動を続けたいと思える環境づくりが欠かせません。退会防止とは、退会届が出てから引き止めることではありません。会員一人ひとりの水位に早く気づき、声をかけ、名前を呼び、役割を託し、感謝を伝え、「あなたが必要です」という思いを届けていくことだと思います。今回の内容が、もっと元気なクラブづくりにつながれば幸いです。

なお、当日の資料やデータは、JAPAN PORTAL SITE に掲載されております。ぜひ各地区でご自由にご活用ください。

あわせて、本誌の発行を支えてくださいました国際ロータリー日本事務局の皆さまにも、厚く御礼申し上げます。



ARMC の黒川伸一さん(KUROCHAN)、樋口明さん(GUCCI)、白鳥敬日瑚さん(Swan)には、ロータリー研究会、活性化セミナーのいずれにおいても、準備から当日の寸劇まで大変お世話になりました。皆さまと一緒に笑いながら取り組めた時間は、私にとって大切な思い出です。心強い仲間に出会えたことに、心より感謝申し上げます。

なお、黒川さんは 2025-26 年度をもって ARMC をご卒業されます。これまで本当にありがとうございました。



コーディネーター NEWS

2026年7月号 No.3

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

地域リーダーの醍醐味について

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 瀧 満（中津 RC）

RPIC を拝命し、あっという間の1年が過ぎました。第3地域のガバナー、多くのクラブの皆様を支えられ、私のロータリーライフに新たなページを刻むことができました。任期はあと2年ありますが、地域リーダーの醍醐味をお伝えし、この役職を今から引き継いで頂く事になるロータリー会員の参考になればと考え、この紙面を使わせて頂く事にしました。



《地域リーダーの醍醐味》

1. Global Support Seminar (GSS)

エバンストンのワン・ロータリー・センターでの研修は世界各地から集まった地域リーダー約50名が毎日4コマのセッションを通じて、ロータリーの本質を掘り下げてゆきます。ロータリーの中核的価値観を体現できる最高のセミナーです。

2. ロータリーを俯瞰できるポジション

エバンストンで経験した世界のロータリー会員との交流で、クラブや地区の視点を越えた広い視野でロータリーを見る事が出来るようになりました。

3. 日本のロータリーの運営に携われる幸運

クラブや地区のことしか知らなかった私にとって、日本のロータリー会員全体のために日々尽力されている RI 理事他の多くの役職のご苦労を目の当たりにし、そのお手伝いができることに誇りを感じるようになりました。

4. クラブ、地区を超えた交流

各地区、各クラブのセミナーや地区大会での講演に招かれ、私の今までの経験やGSSで研修して来た内容を伝えてゆく過程で生まれた全国的なロータリー会員とのネットワークは私の人生を大いに豊かにしてくれました。



最後に、ロータリー公共イメージコーディネーターとしての活動の1コマを紹介させていただきます。掲載の写真は、2720 地区で行われました“ポリオ根絶カラオケチャリティー大会”に参加した一コマです。皆様のクラブでの積極的なイメージアップ活動を期待しております。

新入会員の紹介



第1分區 稚内ロータリークラブ

塚本 岳人 (つかもと たけひと)
新聞社
1965年8月11日生 / 7月1日入会
ロータリー活動に貢献できるよう努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



第1分區 稚内ロータリークラブ

川野 忠司 (かわの ただし)
商工会議所
1959年5月12日生 / 7月1日入会
新たに入会しました。地域・社会への貢献とゴルフ例会を頑張ります。よろしくお願いいたします。



第1分區 稚内ロータリークラブ

葛井 宏典 (つたい ひろのり)
海上運輸
1965年5月6日生 / 7月1日入会
学びながらロータリーの精神を会得体現できるよう頑張ります。よろしくお指導いただきますようお願いいたします。



第1分區 稚内南ロータリークラブ

青山 滋 (あおやま しげる)
公共施設管理
1957年2月11日生 / 7月13日入会
会員の皆様と共にささやかながら地域貢献に参加させていただきたいと思っております。



第3分區 旭川ロータリークラブ

小渡 信洋 (こわたり のぶひろ)
地方銀行
1969年7月23日生 / 7月31日入会
皆様との交流を深め奉仕の機会にできればと思っています。よろしくお願いいたします。



第3分區 旭川ロータリークラブ

安田 俊輔 (やすだ しゅんすけ)
乳腺外科医
1989年12月4日生 / 7月31日入会
旭川での、ひいては道北地域全体での乳がん死亡率の低下に貢献できる様、尽力して参ります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



第3分區 旭川北ロータリークラブ

泉 友洋 (いずみ ともひろ)
飲食業
1982年9月8日生 / 7月1日入会
Eクラブから北クラブへ入会させていただきました。接客業のスキルを生かしてロータリアンとして成長したいと思います。さんろくでチリチリ頭の私を見かけたら気軽にお声掛けください!!



第3分區 旭川西ロータリークラブ

重原 哲司 (しげはら てつじ)
福祉事業
1983年4月18日生 / 7月1日入会
伝統ある旭川西クラブに入会できて光栄です。



第3分區 旭川西ロータリークラブ

中田 雅昭 (なかた まさあき)
耕種農業
1963年5月20日生 / 7月1日入会
新たに入会しました。地域・社会への貢献とゴルフ例会を頑張ります。よろしくお願いいたします。



第3分區 旭川西ロータリークラブ

沼崎 雅之 (ぬまざき まさゆき)
不動産業
1982年11月25日生 / 7月7日入会
皆様と一緒に活動できることを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。



第3分區 旭川西ロータリークラブ

平澤 幸憲 (ひらさわ ゆきのり)
介護施設
1972年9月8日生 / 7月7日入会
皆様との素晴らしい出会いを楽しみにしております。微力ながらクラブの活動に積極的に参加し、共にロータリーを楽しみたいと思っております。



第3分區 富良野ロータリークラブ

日高 淑 (ひだか きよし)
産業廃棄物処理
1969年4月27日生 / 7月2日入会
趣味は、バイクツーリング、ゴルフです。よろしくお願いいたします。

新入会員の紹介



第3分區 富良野ロータリークラブ

中山 直樹 (なかやま なおき)
普通銀行
1983年9月6日生 / 7月9日入会
趣味は剣道、ゴルフです。これからお世話になります。宜しくお願い致します。



第5分區 網走ロータリークラブ

添田 伸 (そえだ しん)
塗装業
1974年5月12日生 / 7月7日入会
ロータリークラブの奉仕の精神を学びます。



第5分區 網走ロータリークラブ

小野寺 寛幸 (おのでら ひろゆき)
信用金庫
1962年9月11日生 / 7月7日入会
地域を元気にお役に立てるよう活動していきます。



第5分區 網走ロータリークラブ

藤田 力 (ふじた つとむ)
医師
1957年4月14日生 / 7月28日入会
青森出身です。学生時代はラグビー筋でした。今は、種から苗を育てるのが趣味です。



第5分區 美幌ロータリークラブ

安井 浩樹 (やすい ひろき)
消化器内科医
1968年3月3日生 / 7月16日入会
本当にいろいろな方とのご縁や、不思議と言ってもよいような偶然が重なって入会に至りました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



第5分區 美幌ロータリークラブ

西田 直樹 (にしだ なおき)
地方金融
1976年7月30日生 / 7月30日入会
まだわからないこともたくさんあるかと思いますが、皆様にご指導いただきながら、少しずつ学んでまいりたいと思っております。10歳から野球を始め、40年間取り組んできました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



第5分區 美幌ロータリークラブ

高谷 元幸 (たかや もとゆき)
製糖
1968年12月17日生 / 7月1日入会
皆様方にいろいろとご指導いただきながら活動していきたいと思ひます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



第5分區 北見ロータリークラブ

佐藤 昌幸 (さとう まさゆき)
電信電話事業
1975年5月7日生 / 7月8日入会
北見は初めて住みます。登山が趣味なので、百名山の斜里岳と羅臼岳には挑戦したいです。



第5分區 北見東ロータリークラブ

井上 智徳 (いのうえ ともり)
信用金庫
1973年9月20日生 / 7月3日入会
前任の井上 同様よろしくお願いいたします。



第5分區 北見東ロータリークラブ

腰原 久郎 (こしはら ひさお)
銀行
1968年12月21日生 / 7月3日入会
ゴルフ・サウナ・学生(小〜大)競技アルペンスキーやりました。よろしくお願いいたします。



第5分區 北見東ロータリークラブ

日南 謙一 (ひなみ けんいち)
電気事業
1972年1月17日生 / 7月10日入会
単身赴任となり、焼肉の食べ過ぎに留意しながら、皆様との交流を重ね勉強させて頂きますのでよろしくお願いいたします。



第5分區 北見東ロータリークラブ

橋本 淳 (はしもと あつし)
生損保代理店
1964年11月30日生 / 7月10日入会
5人家族、息子の野球を観る事が楽しみです。宜しくお願い申し上げます。

新入会員の紹介



第5分區 北見西ロータリークラブ

草野 渡 (くさの わたる)
自動車整備
1983年1月18日生 / 7月2日入会
渡海へ焼肉食べに来てください。



第5分區 北見西ロータリークラブ

寺澤 一 (てらさわ はじめ)
自動車販売
1975年9月3日生 / 7月2日入会
2年振りの単身赴任 頑張ります。



第6分區 帯広東ロータリークラブ

鎌田 隆司 (かまだ りゅうじ)
板金工事
1968年6月2日生 / 7月7日入会
会員メンバー皆様と親睦を深め活動していきたい
と思います。よろしくお願いします。



第6分區 帯広東ロータリークラブ

奥本 直也 (おくもと なおや)
ギフト商品卸売業
1989年9月18日生 / 7月7日入会
ご縁に感謝し積極的に活動してまいります。
よろしくお願いいたします。



第6分區 帯広南ロータリークラブ

進藤 寛也 (しんどう ひろや)
鋳造鉄鋼業
1984年9月25日生 / 7月13日入会
この会でのご縁を大切に、地域と仲間のために
学び、行動してまいります。



第6分區 音更ロータリークラブ

桜井 秀樹 (さくらい ひでき)
建設業
1980年1月14日生 / 7月2日入会
このたび、ご縁をいただき入会いたしました。歴
史と伝統あるロータリークラブの一員となれたこ
とを光栄に思います。活動を通じて多くの事を学
びながら、自身の成長と地域社会への貢献に努め
てまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



第6分區 清水ロータリークラブ

玉澤 雅樹 (たまざわ まさき)
飲食業
1978年10月8日生 / 7月1日入会
がんばって参加して 楽しみたいと思います!!



第7分區 釧路ロータリークラブ

邊牟木 敬史 (へむき けいじ)
全国放送
1968年7月5日生 / 7月30日入会
この度、入会をお許しいただきました邊牟木と申します。名
前の由来は鹿児島、出身は大阪ですが、社会に出て以来北
見、札幌、函館と延べ13年間、道内勤務を経験してきまし
た。この度、東京から9年ぶりに我が心の故郷、北海道に戻
てくることができ、感無量の思いです。同時に歴史と伝統
のある釧路ロータリークラブで、「ルーキー」を名乗れる喜
びを噛みしめています。どうぞよろしくお願いいたします。



第7分區 釧路ロータリークラブ

渡辺 敏哲 (わたなべ としあき)
電力供給
1969年12月4日生 / 7月30日入会
このたび、釧路ロータリークラブに入会させて
いただきました。若い頃にお世話になった釧路
への恩返しの気持ちを胸に、活動に取り組んで
まいります。どうぞよろしくお願いいたします。



第8分區 中標津ロータリークラブ

家政 孝徳 (かせい たかのり)
小売業
1981年5月28日生 / 7月23日入会
よろしくお願いいたします。



第8分區 中標津ロータリークラブ

平山 光生 (ひらやま ひろみ)
小売業
1986年12月7日生 / 7月23日入会
ものづくりが好きです。



第8分區 中標津ロータリークラブ

大西 里奈 (おおにし りな)
飲食業
1982年6月26日生 / 7月23日入会
趣味：キャンドル・ポーセラーツ・宝石セッ
クン

新入会員の紹介

第8分区 中標津ロータリークラブ



須藤 貴英 (すどう たかひで)
新聞社
1982年8月1日生 / 7月23日入会
よろしくお願いします。

2025-26年度入会分

第2分区 名寄ロータリークラブ



小川 和則 (おがわ かずのり)
農業協同組合
1964年10月14日生 / 6月9日入会
名寄ロータリークラブ会員として地域貢献はもとより、クラブが益々発展するために尽力を尽くしてまいります。よろしくお願いします。

寄付者報告

ロータリー財団

第7分区 釧路東ロータリークラブ

高森 智 (たかもり さとし)

寄付月日 2026年7月28日

寄付種類 PHF

米山功労者

第7分区 釧路ベイロータリークラブ

葭本 正美 (よしもと まさみ)

寄付月日 2026年7月27日

米山功労者 13回

米山功労者

第6分区 帯広ベイロータリークラブ

小沢 昌博 (おざわ まさひろ)

寄付月日 2026年7月29日

米山功労者 15回 メジャードナー

物故会員

第3分区 富良野ロータリークラブ



澤 博美 (さわ ひろみ)
電気工事
2026年7月12日逝去 (享年58歳)

2023年 1月入会
2023年 親睦委員会委員
2024年 青少年奉仕委員会委員・親睦委員会委員
2025年 青少年奉仕委員会委員長・会員増強委員・地区ロータクト委員会委員
2026年 職業奉仕委員会委員長

第8分区 根室西ロータリークラブ



大島 正 (おおしま ただし)
食品加工
2026年7月1日逝去 (享年90歳)

2007年 4月入会
2013年 プログラム委員長
2014年 副会長、クラブ奉仕委員長
2015年 会長
2016年 直前会長
2017年 会場監督、米山記念奨学委員長
2018年 ロータリー情報委員長
2021年 ロータリー財団委員長
ロータリー表彰 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
米山功労者

例会出席率・会員数推移（2026年7月末報告）

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数					
				前月	当月	増減	女性会員	入会	退会
1	礼 文	2	-	13	13	0	0	0	0
	利 尻	4	62.00	21	22	1	2	1	0
	利 尻 島	2	46.00	13	14	1	0	1	0
	天 塩	2	65.60	16	16	0	3	0	0
	豊 富	2	100.00	20	20	0	1	0	0
	稚 内	3	73.70	40	43	3	2	3	0
	稚 内 南	2	91.00	35	36	1	1	1	0
				158	164	6	9	6	0
2	美 深	3	71.30	27	27	0	1	0	0
	枝 幸	3	52.30	25	25	0	0	0	0
	名 寄	4	58.10	50	50	0	2	0	0
	中 頓 別	3	78.00	11	11	0	0	0	0
	士 別	3	84.85	46	44	-2	1	1	3
				159	157	-2	4	1	3
3	旭 川	4	-	100	102	2	11	3	1
	旭 川 東	2	-	28	28	0	0	0	0
	旭 川 北	4	-	52	51	-1	4	1	2
	旭 川 南	3	-	29	29	0	2	0	0
	旭 川 西	3	-	44	48	4	5	4	0
	旭川東北	3	-	18	19	1	1	1	0
	旭川MRC	2	-	22	22	0	4	0	0
	旭川空港	3	73.00	16	16	0	2	0	0
	美 瑛	3	-	32	32	0	2	0	0
	富 良 野	4	79.00	44	45	1	3	2	1
	上 川	3	-	11	11	0	1	0	0
	2500E	2	69.20	13	13	0	3	0	0
				409	416	7	38	11	4
4	遠 軽	4	64.30	48	47	-1	3	0	1
	紋 別	6	56.35	32	32	0	2	0	0
	紋 別 港	4	70.86	30	30	0	3	0	0
	興 部	3	76.10	14	14	0	1	0	0
	雄 武	4	60.41	12	12	0	0	0	0
	滝 上	3	85.70	14	14	0	1	0	0
				150	149	-1	10	0	1

第2500地区	前月末 会員数	当月末 会員数	増 減	平均出席率
	2207	2245	38	70.56
女性会員数	175	176	1	

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数					
				前月	当月	増減	女性会員	入会	退会
5	網 走	4	-	50	53	3	6	3	0
	網 走 西	4	60.62	52	52	0	3	0	0
	美 幌	3	90.30	52	54	2	5	3	1
	北 見	4	69.49	58	59	1	8	1	0
	北 見 東	4	77.43	45	49	4	3	4	0
	北 見 西	4	87.46	66	68	2	5	2	0
	清 里	2	80.80	29	29	0	0	0	0
	留 辺 薬	3	78.79	21	22	1	0	1	0
	斜 里	3	69.23	27	26	-1	4	0	1
				400	412	12	34	14	2
6	足 寄	3	52.70	24	24	0	2	0	0
	広 尾	2	59.40	16	16	0	1	0	0
	上 士 幌	3	64.40	15	15	0	0	0	0
	芽 室	2	100.00	19	22	3	1	3	0
	帯 広	4	69.80	82	88	6	11	6	0
	帯 広 東	4	64.98	35	37	2	3	2	0
	帯 広 北	3	58.79	55	55	0	4	0	0
	帯 広 南	2	85.20	63	64	1	9	1	0
	帯 広 西	4	61.00	82	82	0	9	0	0
	音 更	4	71.40	41	42	1	6	1	0
7	清 水	4	67.50	19	20	1	1	1	0
				451	465	14	47	14	0
	釧 路	5	69.60	106	108	2	1	2	0
	釧 路 東	3	55.00	26	26	0	0	0	0
	釧 路 北	4	65.00	81	81	0	6	0	0
	(ルミナス)			8	8		8		
	釧 路 南	4	54.00	26	26	0	5	0	0
	釧 路 西	2	58.00	26	26	0	2	0	0
	釧路ベイ	3	74.00	18	18	0	2	0	0
	音 別	2	73.00	13	13	0	0	0	0
8	白 糠	5	85.50	11	11	0	1	0	0
				315	317	2	25	2	0
	厚 岸	3	75.00	14	15	1	1	1	0
	浜 中	4	55.00	9	9	0	0	0	0
	中 標 津	3	63.10	45	49	4	6	4	0
	根 室	3	58.10	31	31	0	0	0	0
	根 室 西	4	76.00	47	46	-1	1	0	1
	弟 子 屈	2	91.20	18	17	-1	1	0	1
				164	167	3	9	5	2
			70.56	2206	2247	41	176	53	12



2027年6月26日～30日 バルセロナ・スペイン

会場：Fira Barcelona Gran Via

登録料

	2026年9月17日～21日 5日間限定・早期割引	2026年9月22日～ 2027年3月31日	2027年4月1日～ 6月30日
クラブ会員、会員以外の方、 または同伴者（31歳以上）	US\$595	US\$795	US\$895
クラブ会員、会員以外の方、 または同伴者（30歳以下）	US\$250	US\$350	US\$400
5～18歳の同伴者	US\$20	US\$30	US\$40
5歳未満の同伴者	無料	無料	無料

RIバルセロナ国際大会 推進チーム

推進チームメンバー

出村 知佳子 | chikakodemura@gmail.com

日本チーム

第1地域 佐渡 正幸
RID2500・釧路北ロータリークラブ

第2地域 中川 雅雄
RID2580・東京浅草ロータリークラブ

第3地域 大橋 秀典
RID2660・東大阪東ロータリークラブ

大会登録・詳細

<https://convention.rotary.org/ja-jp/registration>



2026-27年度 国際ロータリー第2500地区 ガバナー事務所のご案内

ガバナー 山本 倫生
地区幹事 小滝 達也
事務局 前野 房子

所在地

〒070-0031
北海道旭川市1条通10丁目159ツインクル1条通ビル3階
TEL 0166-74-8380 FAX 0166-74-8533
Email rid2500@aa.wakwak.com

ホームページ

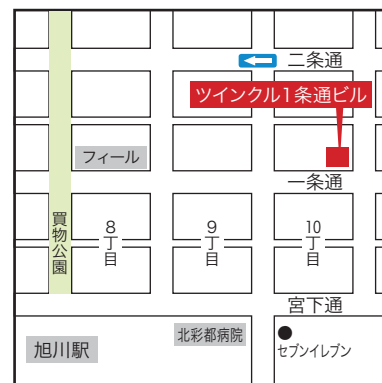
<https://www.ri2500.gr.jp/>

勤務時間

10:00 ~ 17:00

休日

土曜、日曜、祝日 夏期休暇 8/11 ~ 16 冬期休暇 12/28 ~ 1/5



国際ロータリー第2500地区

〒070-0031 北海道旭川市1条通10丁目159 ツインクル1条通ビル3階
TEL 0166-74-8380 FAX 0166-74-8533 Email rid2500@aa.wakwak.com

Rotary International District 2500

Twinkle 1-jodori Building 3F, 159,10-chome,1-jodori,Asahikawa,Hokkaido,070-0031,Japan
Phone +81-166-74-8380 FAX +81-166-74-8533 Email rid2500@aa.wakwak.com

国際ロータリー日本事務局 事務所のご案内

〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル24階

会員増強・体験推進室 TEL 03-5439-5800 Email rijapan@rotary.org

財団室 TEL 03-5439-5805 Email rijpntrf@rotary.org

経理室 TEL 03-5439-5803 Email rijpnsf@rotary.org

業務推進室 TEL 03-5439-5802 Email rijpnpi@rotary.org

2026-27年度 国際ロータリー第2500地区

地区大会

記念ゴルフ大会

2026. 10. 9 (Fri)

大雪山カントリークラブ

特別記念講演

演題

「人生何が起きるかわからない
～太蔵流チャンスをつかむ技術」

開催日

2026. **10. 10** (sat)

会場

旭川市民文化会館



杉村 太蔵 氏

2026-27年度 RI第2500地区ガバナー 山本 倫生

ホストクラブ：旭川ロータリークラブ